

松戸市病院事業 経営計画 第3次・経営強化プラン (令和4～9年度)

〔令和6年3月改定〕
【概要版】



※イメージ図のため、変更になる可能性があります。



松戸市立総合医療センター
Matsudo City General Hospital

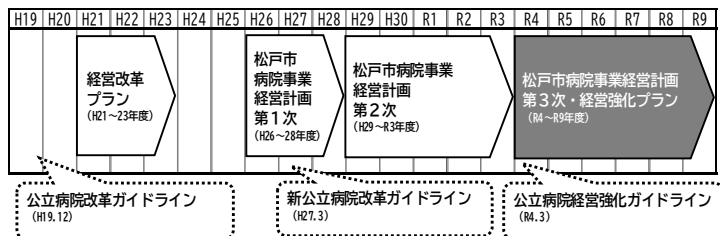
松戸市病院事業 経営計画 第3次・経営強化プラン(令和4～9年度)

令和4年に策定した「松戸市病院事業 経営計画 第3次」(令和4～7年度)を、総務省の「公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえ改定しました。本計画に基づき、引き続き、地域において必要な医療提供体制の確保及び経営の効率化による持続可能な病院経営に取り組んでいきます。

経営計画第3次・経営強化プランについて

本編 I 章
1～3

●経営計画の変遷



●公立病院経営強化ガイドラインの要請事項

- ・地域医療構想を踏まえた当該病院が果たすべき役割や機能
- ・医師・看護師等の確保と働き方改革
- ・経営の効率化
- ・住民の理解のための取り組み など

●経営計画第3次の改定内容

- ・役割・機能の明確化・最適化
- ・公立病院経営強化ガイドラインの要請事項を踏まえ記載内容を追加、計画期間を2年延長
- ・取組み施策の指標の新設・廃止・定義変更や目標値の延長及び見直し
- ・収支計画の修正
- ・松戸市立福祉医療センター廃止により、松戸市立総合医療センターを中心に記載

●計画実施状況の点検・評価・公表

松戸市病院事業経営改革委員会において毎年点検・評価を行い、その結果はホームページ等で公表します。

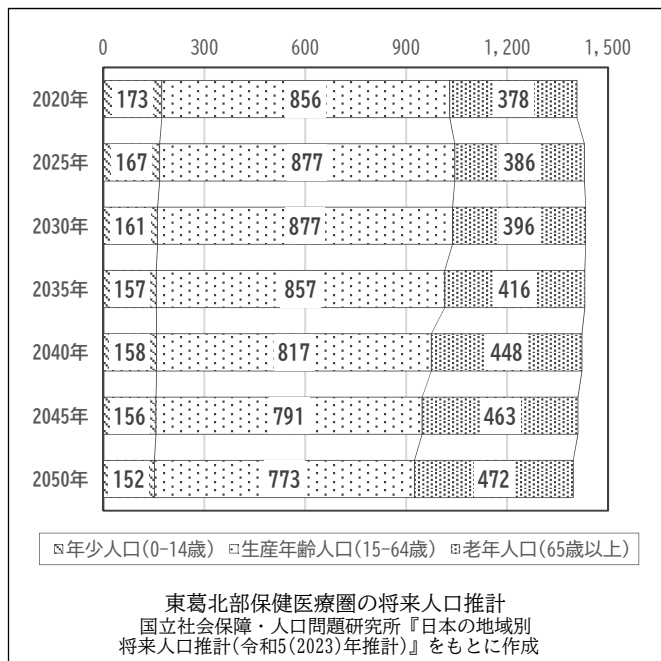
松戸市病院事業の概要

本編 I 章
4

●東葛北部保健医療圏

- ・構成市…松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市
- ・人口…1,408,495人※(県内2番目)
- ・医療需要見込…総人口は減少するが老年人口は増加し、入院医療・在宅医療ともに地域医療の需要が高い状況が続くことが見込まれています。

※令和5年度第2回東葛北部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議配布資料 千葉県保健医療計画



●病院事業の使命

- ・三次救急、小児・周産期医療、がん診療、災害医療、新興感染症、地方自治体の支援が必要な患者の受け入れなど、民間医療機関では採算面で負担が大きい医療を提供します。
- ・地域に必要な医療を持続的に提供していくため、医療需要の変化や医師等の不足、働き方改革などに対応していきます。
- ・地域医療構想調整会議の協議を踏まえ、求められる役割と機能を果たしていきます。

●千葉県保健医療計画において総合医療センターに求められている役割

	五事業・五疾病など	役割
五事業	救急医療	三次救急医療機関(救命救急センター)
	周産期医療	地域周産期母子医療センター
	小児医療(小児救急医療を含む)	全県(複数圏域)対応型小児医療連携拠点病院
	災害時における医療	災害拠点病院(DMAT指定医療機関)
	新興感染症発生・まん延時における医療	第二種感染症指定医療機関、第一種協定指定医療機関(予定)
五疾病	がん	地域がん診療連携拠点病院
	脳卒中	急性期対応医療機関
	心筋梗塞等の心血管疾患	急性期対応医療機関
	糖尿病	専門的な管理を行う医療機関
	精神疾患	身体合併症患者の治療、専門医療(発達障害・てんかん等)を行う医療機関
	地域医療連携	地域医療支援病院

計画期間中の主要な取組み

令和6年3月に福祉医療センターを廃止し、東松戸病院の機能の一部を総合医療センターに引き継ぎます。また、現在稼働できていない病床を稼働させ、小児・周産期医療、高度急性期医療などの総合医療センターが東葛北部保健医療圏において求められている役割を強化していきます。

強化にあたっては、別棟の建設や既存棟の改修工事を計画しており、段階的に取組んでいきます。

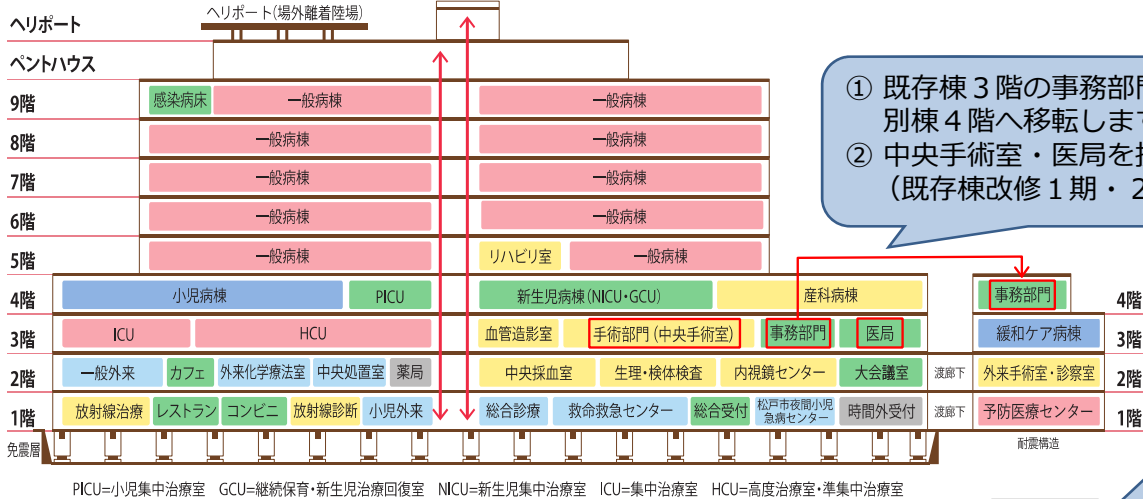
地域において必要な医療提供体制を確保しながら持続可能な病院経営を図り、地域医療における役割・機能を果たしていきます。

●診療機能の拡大

項目	機能強化の概要	場所	工事	時期	病床数
緩和ケア病棟の開設	●東松戸病院から機能を継承し、緩和ケア病棟20床を開設します ●がん診療連携拠点病院としての機能を生かし、放射線治療による疼痛緩和(緩和的放射線治療)等に対応します	別棟(3階)	別棟建設	R7年10月	緩和ケア(20床)
予防医療センターの開設	●東松戸病院から機能を継承し、予防医療センターを新設します ●人間ドック等の健(検)診事業を実施し、病気の早期発見から適切な治療へとつなげます ●講座室を設け、公開講座等を通じて健康意識の増進を図ります	別棟(1階)	別棟建設	R7年10月	—
周産期医療の強化	●NICUを15床から18床へ増床します	既存棟(4階)	—	R6~7年度	NICU(15床→18床)
	●GCUを18床から24床へ増床します	既存棟(4階)	—	R8~9年度	GCU(18床→24床)
小児医療の強化	●小児病棟を54床から63床に増床します	既存棟(4階)	—	R6~7年度	小児病棟(54床→63床)
高度急性期医療の強化	●外来手術室2室を設けます	別棟(2階)	別棟建設	R7年10月	—
	●中央手術室を8室から9室へ拡充(増室)します	既存棟(3階)	既存棟(2期)	R8~9年度	—
	●ICUを8床から14床へ増床します	既存棟(3階)	—	R8~9年度	ICU(8床→14床)
感染症対応力の強化	●新興感染症の感染拡大に備え、予防医療センターを有事に発熱外来に転用可能な造りとします	別棟(1階)	別棟建設	R7年10月	—

※ 既存棟改修1期工事は、医局拡張等を行います

【各階配置図】



- ① 既存棟3階の事務部門を別棟4階へ移転します
- ② 中央手術室・医局を拡張します(既存棟改修1期・2期工事)

令和7年10月
オープン予定
地上4階建
鉄筋コンクリート造・耐震構造
建築面積1,080㎡
延床面積3,630㎡

●病床機能の整理・再編

許可病床600床(一般病床592床・感染症病床8床)を維持しつつ、診療機能の拡大へ対応するため、病床を再編します。

計画期間終了時点である令和9年度末へ向けて、医師・看護師・その他の必要な職種の確保に努め、許可病床600床全床の稼働を目指します。

※感染症病床8床は一般病床397床に含まれます。

(単位: 床)

(令和5年度末時点)		(令和7年度末時点)		(令和9年度末時点)	
病床区分	病床数	病床区分	病床数	病床区分	病床数
ICU	8	ICU	8	ICU	14
HCU	28	HCU	28	HCU	28
一般病棟	397	一般病棟	397	一般病棟	397
産科病棟	28	産科病棟	28	産科病棟	28
NICU	15	NICU	18	NICU	18
GCU	18	GCU	18	GCU	24
PICU	8	PICU	8	PICU	8
小児病棟	54	小児病棟	63	小児病棟	63
緩和ケア	0	緩和ケア	20	緩和ケア	20
合計	556	合計	588	合計	600

基本理念

すべての人に「来てよかった」と思われる病院を目指します。

基本方針

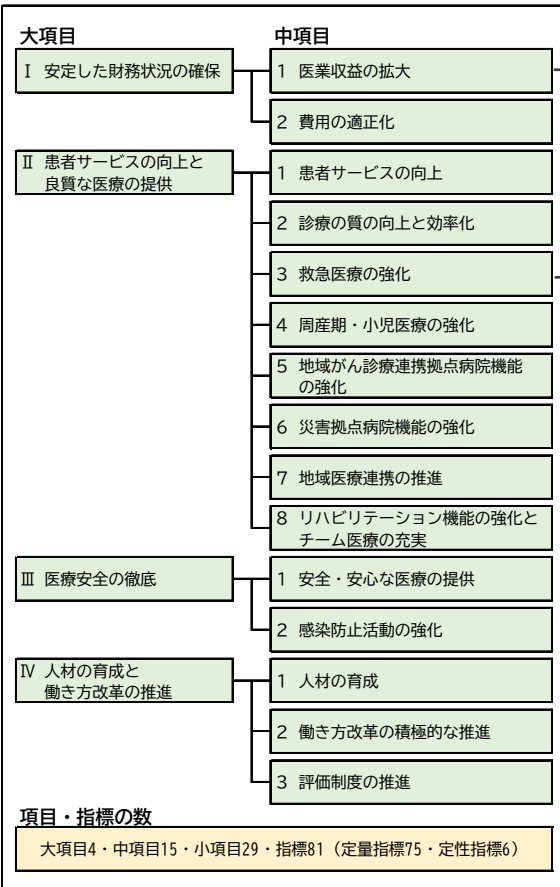
1. 患者さんの権利と尊厳を尊重します。
2. チーム医療を実践し安全かつ良質な医療を提供します。
3. 救命救急医療・小児周産期医療・がん診療など高度急性期医療を担います。
4. 災害拠点病院として地域の安全を守ります。
5. 地域の医療機関とのパートナーシップを推進します。
6. 次世代を担う心豊かな医療人を育てます。
7. 職員が誇りと生きがいを持てる職場を作ります。
8. 健全で自立した経営に努めます。

取組み施策

- I 安定した財務状況の確保
- II 患者サービスの向上と良質な医療の提供
- III 医療安全の徹底
- IV 人材の育成と働き方改革の推進

基本理念・基本方針を実現するため、取組み施策の体系を構築し、それぞれの目標を定めました。R6年3月の改定にあたり、R4・5年度の取組み状況や診療機能の拡大計画を踏まえた見直しを行いました。

取組み施策（体系）



小項目「入院収益の増加」（一部省略）

指標はR元年度～R3年度実績を省略しています（本編には記載されています）

指標	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画	R7年度 計画	R8年度 計画	R9年度 計画
稼働病床数 (年間平均)	502床	556床	564床	578床	591床	597床
入院患者数 (一日平均)	424人	500人	507人	520人	532人	535人
新入院患者数	11,966人	14,524人	15,168人	15,817人	16,182人	16,273人
平均在院日数	11.9日	11.6日 以内	11.2日 以内	11.0日 以内	11.0日 以内	11.0日 以内
入院診療単価	77,084円	78,185円	79,284円	79,920円	80,586円	82,878円

小項目「救急車受入件数の増加・救急応需率の向上」

指標	R4年度 実績	R5年度 計画	R6年度 計画	R7年度 計画	R8年度 計画	R9年度 計画
救急車受入件数 (三次救急)	1,414件	1,500件	1,500件	1,500件	1,500件	1,500件
三次救急応需率	67.3%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
救急車受入件数 (二次救急)	3,973件	3,900件	4,000件	4,100件	4,200件	4,300件
二次救急応需率	58.9%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%

収支計画

新型コロナウイルス感染症の5類移行、福祉医療センター廃止、働き方改革及び物価上昇等、厳しい環境の中で、今後の医療需要に応え更なる収益を確保していくため、診療機能の拡大等、本計画に取組み、経常収支比率の改善を図っていきます。